

授業改善を目指した取組事例

西中 学校

事例 1

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」意識した授業改善

○学年 3学年

○教科名 数学

○単元名 関数 $y = a x^2$

○身に付けさせたい力 関数 $y = a x^2$ としてとらえられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見出し、表、式、グラフ等を相互に関連付けて考察し表現する力

○個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実へ向けた工夫

- ・関数 $y = a x^2$ の変域、変化の割合、一次関数との比較の内容にて、「自由進度学習」を行った。
- ・最初の時間で、
確認テストのサンプル（基本的な内容にしてある）を示した。
自由進度学習が終わったあと、クラス全員がこの問題をできるようにするのが目標、
そのためにもっともよいと思う行動を自分で考えてするように伝えた。
- ・学習内容、学習方法、参考資料等についてまとめた「学習の進め方」を配布し、それを参考にしながら各自で学習する方法やペース等を考え、学習内容の定着を図った。
- ・座席表を教師机の上に設置し、自分がどこまで進んでいるかがわかるようにした。困った時に、自分より早く進んでいる人に聞いてみよう、同じ進度の人と相談してみようという目安として活用させた。
- ・それぞれの内容に対して、早く終わってしまった生徒に対して発展問題を用意し、自由に取り組めるようにした。

※学校ホームページでは、個人情報保護の観点から、記事、レイアウト、画像等、配付版とは一部異なる場合があります。

○成果と課題

成果

- ・自分で学習計画を決めたことで、自分で責任をもって学習を進めようという姿勢が見られた。
- ・グループで進めたい生徒、一人で進めたい生徒、通常授業では進度についていけない生徒や余裕のある生徒等、様々な生徒に対応できる授業方法であると感じることができた。
- ・4時間扱いの授業の終わりに実施した生徒アンケートでは、おおむね好意的な感想であった。

課題

- ・教材研究に普段の数倍の時間を要し、継続的な取組としては、限界を感じるころではあった。
- ・4時間分扱いの内容を4時間で行った（実際は、4/4の授業の後半で確認テストとアンケートを行った）ので、確認テストの定着度は、例年の指導からあまり向上が見られなかった。
- ・ペースが1人1人違うので、4時間分それぞれの学習内容についての「まとめ」や「ふり返し」をかくタイミングや内容について、正解が見えていない状況である。
- ・数学が苦手な生徒にとっては、好意的な感想が大半を占めたが、得意な生徒の方が、「どんどん進められる」というメリットを感じる生徒と「学級全体での共有やまとめがないことへの不安・とまどい」のようなデメリットを感じる生徒とに分かれた印象である。

アンケート結果

質問1 自由進度学習での授業を受けての、あなたの「満足度」を教えてください。

平均 72.6点

質問2 自由進度学習での授業を、また受けたいですか？

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 ずっとこの授業方式がいい！ | 28% (27人) |
| 2 また、やってみたい！ | 40% (39人) |
| 3 どちらでもよい | 19% (18人) |
| 4 あまり、やりたくない | 13% (13人) |
| 5 絶対にやりたくない！ | 0% (0人) |

質問3 自由進度学習での授業で満足できた部分を教えてください。

- ・自分のペースで進められる。
 - ・わからないところをすぐに聞ける。
 - ・いろいろな人の意見が聞ける
 - ・自由に早いペースで内容を進められるところ
 - ・頭のいい友達に教えてもらうことがたやすくなって、前より理解できる。
 - ・わからないところや知りたいことが友達と考えられて理解しやすく、色々な理解の仕方についてたくさん理解できるところ。
 - ・先に進んでいる人に教えてもらったり同じところの人と一緒に考えたりできる
 - ・自分の納得するまで問題に取り組むことができた。
 - ・自分のやり方や進める速さでできるから、まわりを気にせずに解くことができた。
 - ・自分のスピードで進められて、早く終われば授業中に違う問題にチャレンジできる。
- などなど

質問4 自由進度学習での授業で満足できなかった部分を教えてください。またやるとしたら、次回はこうしてほしいのような要望等、自由に書いてください。

- ・結論がわかりづらい
 - ・まとめやみんなでやれたらいいなと思いました
 - ・結果や答えがわかりづらい
 - ・完全に理解できないところが結構出てしまう
 - ・もしもう一度やるなら、解き方など重要なところの解説をしてほしい
 - ・みんなと同じペースでやらないと理解しづらい
 - ・次回は、いろいろな人と話し合いたいので、見通しの部分はみんなで話し合いたい
 - ・やる気のない人たちは、それほど伸びていないのではないかと思った。
 - ・もっと他の人と協力できるような仕組みを作ってほしい。先生がいる意味がない
- などなど